

令和5年7月20日  
総務教育常任委員会  
消防本部警防課・救急課

令和5年上半期の火災・救急・救助概要について

加古川市消防本部

# 火 災 概 要

## 1 火災件数

- (1) 令和5年上半期の火災件数は46件で、前年同期と比較すると1件の増加となっています。
- (2) 火災種別毎の火災件数を前年同期と比較すると「建物火災」は24件で増減なし、「林野火災」は2件で1件の減少、「車両火災」は2件で3件の減少、「その他火災」は18件で5件の増加となっています。
- (3) 全ての火災(46件)のうち「建物火災」の占める割合は52.2%となっています。

市町別 \ 火災種別	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	増 減 数
加古川市	17	2	2		14	35	+1
稲美町	5				4	9	+2
播磨町	2					2	-2
合 計	24	2	2	0	18	46	+1
増 減 数	±0	-1	-3	±0	+5	+1	

## 2 被害程度

### (1) 人的被害

ア 火災により、14世帯26人がり災しています。

イ 「死者」は3人発生して前年同期と比較すると2人の増加、「負傷者」は8人発生して1人の増加となっています。

市町別 \ 区分	り災世帯数 (世帯)	り災人員 (人)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
加古川市	10	21	2	5
稲美町	2	2	0	2
播磨町	2	3	1	1
合 計	14	26	3	8
増 減 数	+3	±0	+2	+1

## (2) 物的被害

ア 建物火災の焼損床面積は 494 m<sup>2</sup>で、前年同期と比較すると 103 m<sup>2</sup>の減少となっています。

イ 建物火災による損害額は 3,431 万 4 千円で前年同期と比較すると 334 万 2 千円の減少となっています。

区分 市町別	焼損床面積 ( m <sup>2</sup> )	焼損床面積 増減数 ( m <sup>2</sup> )	損害額 ( 千円 )	損害額 増減数 ( 千円 )
加古川市	393	- 44	28,781	- 4,908
稲美町	0	- 158	2,432	- 1,344
播磨町	101	+ 99	3,101	+ 2,910
合計	494	- 103	34,314	- 3,342

## 3 出火原因

全ての火災（46 件）のうち、主な出火原因は「たき火・焼却火」が 12 件で全体の 26.1%と最も多く、次いで「こんろ」が 5 件、「放火の疑い」が 4 件となっています。

市町別 原因別	加古川市						稲美町						播磨町						合計
	建物	林野	車両	船舶	その他	小計	建物	林野	車両	船舶	その他	小計	建物	林野	車両	船舶	その他	小計	
たき火・焼却火	3	2			5	10					2	2						0	12
こんろ	3				1	4						0	1					1	5
放火の疑い	2				1	3						0	1					1	4
電気機器	2					2					1	1						0	3
電灯・電話等の配線	1				1	2	1					1						0	3
たばこ	2					2						0						0	2
溶接機等						0	2					2						0	2
ストーブ	1					1						0						0	1
排気管						0					1	1						0	1
配線器具					1	1						0						0	1
火あそび			1			1						0						0	1
放火	1					1						0						0	1
不明					1	1						0						0	1
その他 (上記以外)	2		1		4	7	2					2						0	9
合計	17	2	2	0	14	35	5	0	0	0	4	9	2	0	0	0	0	2	46

#### 4 その他災害の活動状況

(1) 令和5年上半期のその他災害件数は690件で、前年同期と比較すると18件減少しています。

(2) 主な種別毎に前年同期と比較すると、「燃焼物排除」は6件で11件の減少、「警戒・警備」は10件で10件の減少、「救急支援」は526件で12件の減少となっています。

(3) 全その他災害件数のうち、「救急支援」の占める割合は76.2%となっています。

種別	内容	加古川市	稲美町	播磨町	他市	小計	合計	増減数
危険物排除	施設等から危険物の流出					0	48	+6
	交通事故等による油流出	36	9	3		48		
燃焼物排除	たき火・焼却火	6				6	6	-11
	火あそび					0		
警戒・警備	異臭・異音	2	1			3	10	-10
	危険物流出事故の警戒	1				1		
	防災ヘリ等の離着陸場の設定、誘導、警戒	3		2		5		
	建物等の倒壊、落下に対する警戒					0		
	鎮火後の現場警戒	1				1		
誤報	自動火災報知設備等の誤作動又は誤操作	39	1	4		44	53	-7
	火災と見誤ったもの(たき火の煙、水蒸気等)	7		1		8		
	虚偽の通報	1				1		
水防	風水害等の活動又は警戒	2				2	2	+2
調査	事後に知り得た災害事故調査	3	1			4	4	+3
救急支援	心肺機能停止状態が疑われる場合の支援	327	49	40		416	526	-12
	安全管理を要する道路における支援	44	7	9	1	61		
	傷病者の搬出における支援	32	3	6		41		
	その他	6	1	1		8		
その他	上記の種別に該当しないもの	31	6	4		41	41	+11
合計		541	78	70	1	690	690	-18

# 救 急 概 要

## 1 救急出動件数

(1) 令和5年上半期の救急出動件数は9,234件、搬送人員数は8,335人で前年同期と比較すると救急出動件数は542件増加、搬送人員数は384人増加しています。

(2) 救急出動件数は1日平均51.0件（前年同期48.0件）で、28.2分（同30.0分）に1回の頻度で救急出動しています。また、1日の最多救急出動件数は89件（同68件）となっています。

(3) 現場到着所要時間の平均は8.9分（前年同期+0.3分）となっています。

市町別	区分	救急件数	増減数	搬送人員	増減数
加古川市		7,388	+449	6,663	+337
稲美町		888	+51	811	+19
播磨町		950	+48	855	+37
他市		8	-6	6	-9
合計		9,234	+542	8,335	+384

## 2 事故種別救急出動件数

事故種別については、「急病」が6,169件で前年同期と比較すると429件増加し、全体の66.8%を占めています。

区分	事故種別	急病	一般負傷	交通	転院	その他	合計
件数		6,169	1,422	696	599	348	9,234
比率		66.8	15.4	7.5	6.5	3.8	100
増減数		+429	+108	+46	-21	-20	+542

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 3 傷病程度別搬送人員数

傷病程度別については、「軽症」が3,602人で前年同期と比較すると603人増加し、全体の43.2%を占めています。

区分	傷病程度	軽症	中等症	重症	死亡	合計
人員数		3,602	3,526	1,063	144	8,335
比率		43.2	42.3	12.8	1.7	100
増減数		+603	-192	-26	-1	+384

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

#### 4 年齢区分別搬送人員数

年齢区分別については、「高齢者」が5,009人で前年同期と比較すると13人減少し、全体の60.1%を占めています。

年齢区分 区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
人員数	5	686	355	2,280	5,009	8,335
比率	0.1	8.2	4.3	27.4	60.1	100
増減数	+3	+240	+31	+123	-13	+384

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

#### 5 病院収容所要時間別搬送人員数

(1) 救急事故の覚知から傷病者を医療機関に収容するまでに要した時間は、「30分以上60分未満」が最も多く5,413人で全体の64.9%を占めています。

(2) 病院収容所要時間の平均は40.5分（前年同期+2.3分）です。

所要時間 区分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均 所要時間
人員数	2	150	1,914	5,413	792	64	40.5分
比率	0.0	1.8	23.0	64.9	9.5	0.8	
増減数	+1	-83	-124	+328	+240	+22	

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※統計表中の「0.0」は、単位未満の数を示しています。

#### 6 新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）搬送人員数

新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）搬送人員数は615人で、このうち陽性者は237人です。

市町別 区分	新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）搬送人員数			
	総数	増減数	うち陽性者数	増減数
加古川市	491	+ 96	190	- 56
稲美町	59	- 23	25	- 34
播磨町	65	+ 6	22	- 20
合計	615	+ 79	237	-110

※新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日以降、感染症法上の位置づけが、新型インフルエンザ等感染症から5類感染症に移行されたため、統計表中の数値は、令和5年1月1日から令和5年5月7日までのものとしています。

※増減数については、令和4年1月1日から令和4年5月7日までの前年同期と比較し、算出しています。

# 救 助 概 要

## 1 救助出動件数

(1) 令和5年上半期の救助出動件数は182件で、前年同期と比較すると26件増加しています。

(2) 事故種別毎の救助出動件数で「建物等による事故」が85件(46.7%)と最も多く、次いで「交通事故」が49件(26.9%)となっています。

事故種別 市町別	火災	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	その他の事故	合計	増減数
加古川市	17	41	3		68	2	13	144	+ 17
稲美町	6	3			8		1	18	+ 7
播磨町	2	3	2		9		2	18	+ 4
他 市		2						2	- 2
合 計	25	49	5	0	85	2	16	182	+ 26
前年比	+ 5	+ 20	+ 2	±0	+ 3	- 1	- 3	+ 26	

※「建物等による事故」とは、建物内での「挟まれ」や「閉じ込め」、また、「施錠された建物内での安否確認」等も含まれています。

## 2 事故種別救助人員数

(1) 救助人員数は80人で、前年同期と比較すると9人の増加となっています。

(2) 事故種別毎の救助人員数で「建物等による事故」が42人(52.5%)と最も多く、次いで「交通事故」が24人(30.0%)となっています。

事故種別 市町別	火災	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	その他の事故	合計	増減数
加古川市	2	21	3		36	1	5	68	+ 12
稲美町		2			2			4	- 3
播磨町	1	1	2		4			8	+ 1
他 市								0	- 1
合 計	3	24	5	0	42	1	5	80	+ 9
前年比	+ 3	+ 4	+ 3	±0	±0	- 1	±0	+ 9	

### 3 傷病程度別救助人員数

事故種別・傷病程度別救助人員数を前年同期と比較すると、「死亡」は26人で5人の増加、「重症」は9人で3人の減少、「中等症」は16人で5人の減少、「軽症」は19人で13人の増加となっています。

事故種別 傷病程度	火災	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	その他の事故	合計	増減数
死亡	3	2	2		19			26	+ 5
重症		4			3	1	1	9	- 3
中等症		5	2		8		1	16	- 5
軽症		13	1		2		3	19	+ 13
その他					10			10	- 1
合計	3	24	5	0	42	1	5	80	+ 9
前年比	+ 3	+ 4	+ 3	±0	±0	- 1	±0	+ 9	